

【号外】九大学研都市メールマガジン 令和元年12月13日発行

\* \* \* \*

○\*\*INDEX\*\*○

\* \* \* \*

OPACKからのお知らせ

【1】「nano tech 2020 ~ 国際ナノテクノロジー総合展・技術会議 ~」に出展！【New!!】

九大学研都市に関する団体・機関からセミナー・シンポジウム等のお知らせ

【2】一般公開シンポジウム「与那国島からはじまる日本列島」開催のご案内！【New!!】

【3】令和2年度九州大学マス・フォア・インダストリ研究所  
共同利用研究計画公募のお知らせ！【New!!】

OPACK共催イベントのお知らせ

【4】（公財）福岡県産業・科学技術振興財団 有機エレクトロニクス産業化研究会  
第15回有機光エレクトロニクス産業化研究会 開催のご案内！

\* \* \* \*

○\*\*\*\* 本文 \*\*\*\*○

\* \* \* \*

OPACKからのお知らせ

-----  
【1】「nano tech 2020 ~ 国際ナノテクノロジー総合展・技術会議 ~」に出展！【New!!】  
-----

概要

当機構では、九大学研都市に関わる以下の団体と共同で、『nano tech 2020』に出展いたします。

下記の期間中、パネル展示等と併せて九大学研都市の魅力をご紹介します。

< 共同出展者 >

九州大学 学術研究・産学官連携本部 (AiRiMaQ)

九州大学 最先端有機光エレクトロニクス研究センター (OPERA)

(公財)九州先端科学技術研究所

(公財)福岡県産業・科学技術振興財団

有機光エレクトロニクス実用化開発センター (i3-OPERA)

(株) Kyulux

また、会期中の1月31日(金)10時30分より、i3-OPERAとKyuluxが、有機ELに関する

シーズをご紹介しますセミナーを開催します。

皆さまのご来場をお待ちしております。

-----  
日時：令和2年1月29日(水)~令和2年1月31日(金)  
10時00分~17時00分

場所：東京ビッグサイト(東京都江東区有明3-11-1)  
nano tech 2020 ホームページ<https://www.nanotechexpo.jp/main/>

九大学研都市に関する団体・機関からセミナー・シンポジウム等のお知らせ

-----  
【2】一般公開シンポジウム「与那国島からはじまる日本列島」開催のご案内！【New!!】  
<九州大学 浅海底フロンティア研究センター>  
-----

概要

黒潮の流れに沿って南から北へと連なる日本列島。その入り口となる沖縄県の与那国島を  
起点として、自然環境や文化の特徴、つながりを学際的に論じ、一般市民の方へ情報発信を  
したいと考えています。

皆様のご参加をお待ちしております。

日時：2020年1月11日（土）13:00～17:30

場所：九州大学 椎木講堂 大ホール

内容：

<プログラム>

【招待講演】藤崎 慎吾（作家）「“最も神高い島”と那国」

・「日本列島へ向かう黒潮 - サンゴが記録するその変動」

平林 頌子（九州大学 学振PD）

・「黒潮が洗うと那国島の多様かつ壮大な海底地形」

菅 浩伸（九州大学 浅海底フロンティア研究センター / 九州大学大学院 地球社会統合科学府）

・「黒潮がもたらす沖縄の水圏生物の多様性」

藤田 喜久（沖縄県立芸術大学）

・「海を渡る虫たち - 小さな冒険者の脅威の分散力 - 」

荒谷 邦雄（九州大学大学院 地球社会統合科学府）

・「海を渡った人類と渡難（どうなん）の島の考古学」

片桐 千亜紀（沖縄県埋蔵文化財センター / 九州大学大学院 比較社会文化研究院）

・「「3万年前の航海」体験記 - こうやって黒潮を越えた！ - 」

村松 稔（与那国町）

【主催】浅海底フロンティア研究センター

<http://scs.kyushu-u.ac.jp/seafloor/home>

対象者：どなたでも参加できます。

参加費：入場無料、申し込み不要

お問合せ先：九州大学 浅海底フロンティア研究センター

TEL：092-802-5646

E-mail：seafloor@scs.kyushu-u.ac.jp

・与那国島からはじまる日本列島：[https://www.opack.jp/files/MagazineDetail\\_28309\\_file.pdf](https://www.opack.jp/files/MagazineDetail_28309_file.pdf)

九大学研都市に関する団体・機関からのお知らせ

【3】令和2年度九州大学マス・フォア・インダストリ研究所

共同利用研究計画公募のお知らせ！【New!!】

## 概要

本研究所は日本初の産業数学の研究所であり、多様な数学研究に基礎を置く、新しい産学連携の拠点として平成23年4月に附置研究所として設立されました。

平成25年4月には文部科学大臣から共同利用・共同研究拠点「産業数学の先進的・基礎的共同研究拠点」に認定され、理念である「マス・フォア・インダストリ」の具現化を推進しているところです。

その事業の一環として、本研究所は令和2年度の共同利用研究を公募しています。

以下に概要を示します。詳細はHPより公募要領をご覧ください。

<https://www.imi.kyushu-u.ac.jp/kyodo-riyo/>

## 1. 公募する研究種目の概要

### ・研究集会

本研究所もしくは九州大学の施設において、数日間の研究集会を公開で行うものです。

内容や規模に応じて(I), (II)の2種に分かれています。両者とも組織委員会の委員と講演者には、それぞれ産業界からの参加を必須とします。

また国際連携を進めるため、講演者として海外からの参加者を含めることが望ましいです。

### ・短期共同研究

本研究所において、数名のグループで1週間程度の実質的な共同研究を行うものです。研究テーマとして、個々の企業の知的財産に直結するような狭い問題よりは、複数の企業や研究機関の研究者が協力して取り組めるような、ある程度の普遍性をもった問題を重視します。また、産学連携を推進するために、原則として産業界からの参加者を含めることとします。

#### ・短期研究員

本研究所に1週間から2週間程度滞在し、本研究所を中心とする九州大学に所属する教員と緊密に連絡を取りながら単独での研究ないしは共同研究を行うものです。研究テーマとして、短期共同研究や研究集会につながることで期待されるような萌芽的な課題、あるいは企業等での研究開発現場で生じた、集中的な共同研究が問題の解決やその糸口につながるような課題など、近い将来、産業数学や産学連携の新たなシーズとなるような課題を歓迎します。応募の際は、予め関係する本研究所または九州大学の他部局の研究者と連絡を取り、協議をした上で計画を立ててください。必要があれば本研究所の産学連携窓口が立案を支援します。詳細は以下の問い合わせ先にお尋ね下さい。

## 2. 公募の種別と募集件数

### (1) プロジェクト研究

「トポロジーの科学・産業技術への応用」

プロジェクト代表者：平岡裕章（京都大学高等研究院・理化学研究所AIP）、  
白井朋之（九州大学マス・フォア・インダストリ研究所・理化学研究所AIP）

令和2年度は本テーマに関する研究計画をプロジェクト研究として他の計画と区別して公募します。本プロジェクト研究では短期共同研究2件程度を募集します。

### (2) 若手研究

このカテゴリーでは、研究代表者として令和2年4月1日時点で博士号取得後8年未満（産前・産後の休暇，育児休業の期間を除く）の若手研究者および大学院生を対象に公募を行い、短期共同研究3件程度を実施する予定です。研究テーマとして新しい発想に基づく挑戦的なものを期待しますが、将来の産学連携のシーズとなることを志向した萌芽的なものも歓迎します。これまでの研究経過や実績は重視しません。申請時点で産業界からの参加者がなくても構いませんが、採択後、本研究所が適当な産業界の研究者を参加者もしくはアドバイザーとして紹介します。

### (3) 一般研究

このカテゴリーでは研究分野を特に指定せずに公募します。研究集会(I)1件、研究集会(II)4件、短期共同研究4件程度を実施する予定です。また、短期研究員は2名程度を募集します。

以上の研究計画は、すべて令和2年4月1日から翌年3月31日までに実施されるものとします。

## 3. 応募方法

### (1) 応募資格

大学・大学院・短期大学、大学共同利用機関、高等専門学校、国公立試験研究機関、独立行政法人および企業に所属する研究者、および大学院生

### (2) 応募方法

本研究所のウェブページ

<http://www.imi.kyushu-u.ac.jp/>

から電子申請システムを利用して共同利用研究計画提案書を作成し、応募していただきます。

### (3) 応募締切日

令和2年1月31日（金）

## 4. 選考方法と採否の連絡

学外有識者と学内教員（本研究所所員を含む）8名ずつで構成される共同利用・共同研究委員会において審査の上、採否を決定します。採否は令和2年2月末までに申請者にお知らせします。委員の名簿は研究所のウェブページをご覧ください。

## 5. その他

これまで問い合わせのあった事項に関して「Q&A」を本研究所のウェブページに掲載していますので、参考にしてください。

[https://www.imi.kyushu-u.ac.jp/pages/joint\\_research\\_Q&A.html](https://www.imi.kyushu-u.ac.jp/pages/joint_research_Q&A.html)

お問合せ先：  
九州大学マス・フォア・インダストリ研究所  
共同利用・共同研究拠点事務 古谷智恵美・朝永美佳  
〒819-0395 福岡市西区元岡744  
Tel.: 092-802-4408  
Fax: 092-802-4405  
E-mail: [kyoten-jimu@imi.kyushu-u.ac.jp](mailto:kyoten-jimu@imi.kyushu-u.ac.jp)

#### OPACK共催イベントのお知らせ

-----  
【4】(公財)福岡県産業・科学技術振興財団 有機エレクトロニクス産業化研究会  
第15回有機光エレクトロニクス産業化研究会 開催のご案内！  
-----

#### 概要

ペロブスカイト構造を持つ太陽電池が発表されて以来、エネルギー変換効率がシリコン系太陽電池を超えるものも開発され、機能性ナノ材料として注目されています。本研究会では、ペロブスカイトの発光デバイスへの応用を中心に、最新の研究成果を紹介いたします。

-----  
日時：令和2年1月15日(水)  
講演会 13:30~16:50  
交流会 17:00~18:30

場所：ソラリア西鉄ホテル福岡(福岡市中央区)

#### スケジュール：

【1】研究会(8階 彩雲(雪))

1) ハライドペロブスカイトの基礎物性と応用  
京都大学化学研究所 教授 金光 義彦 氏

2) ペロブスカイト量子の開発と発光デバイス応用  
山形大学大学院 有機材料システム研究科 助教 千葉 貴之 氏

3) 有機分子と金属ハライドペロブスカイトを融合させた新コンセプト発光デバイスの創製  
九州大学 カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所 准教授 松島 敏則 氏

【2】交流会：17:00~18:30(8階 北斗)

参加費：講演会 無料 / 交流会 3,000円

定員：120名(定員に達し次第、締め切らせて頂きます。)

#### お申込方法：

HPからのお申込は、下記のリンクよりご入力・送信下さい。  
<https://www.i3-opera.ist.or.jp/contact>

「セミナー・研究会等のお申込み」に印をつけ、各項目を入力の上、  
内容欄に、講演会(出席、欠席)と 交流会(出席・欠席)をご記入ください。

以上、ご不明点などございましたら、事務局 因幡・大西までご連絡下さい。

お問い合わせ先：  
(公財)福岡県産業・科学技術振興財団内  
有機光エレクトロニクス産業化研究会 事務局

担当：因幡・大西

TEL：092-805-1850 / FAX：092-805-1851

E-mail：i3-opera@ist.or.jp

<https://www.i3-opera.ist.or.jp/contact>

・第15回有機光エレクトロニクス産業化研究会：[https://www.opack.jp/files/MagazineDetail\\_28311\\_file.pdf](https://www.opack.jp/files/MagazineDetail_28311_file.pdf)

\* \* \* \* \* 事務局からのお願い & お知らせ \* \* \* \* \*

九大学研都市メールマガジン会員募集中  
公益財団法人九州大学学術研究都市推進機構（OPACK）では、  
メールマガジン会員を随時募集しております。  
ダイナミックに変貌を遂げつつある九大学研都市エリアの最新情報を  
メールマガジンにて毎月お届けしています。  
産学連携、研究施設、立地情報など九大学研都市に関する情報に  
関心のある方には是非お知らせください。

【詳細】

[http://www.opack.jp/files/TopicDetail\\_45\\_file.pdf](http://www.opack.jp/files/TopicDetail_45_file.pdf)

新規の御登録はこちらから

<https://www.opack.jp/users/add>

設定変更等

本メールマガジンはメルマガ会員にご登録いただいた方や、  
OPACKの各セミナー等にご参加いただいた方あてに配信  
させていただきます。

メルマガ会員登録内容変更、登録解除、パスワード忘れ等は  
下記のURLをご参照ください。

<https://www.opack.jp/users/delete>

または、[info@opack.jp](mailto:info@opack.jp)までお問い合わせください。

\* \* \* \* \*